

令和7年度 熊谷市立三尻小学校経営方針

三尻小 Pride

伝統の継承と新たな挑戦

- 学力（知・徳・体）向上する三尻っ子
- すすんであいさつできる三尻っ子
- 郷土愛・愛校心あふれるの三尻っ子



【 三尻っ子宣言 】

開校150周年記念制定

私たち三尻っ子は、これからも「笑顔いっぱい・感謝いっぱい・感動いっぱい」の合言葉を胸に、自分も周りの人も大切にしていきます。

たくさんの先輩方が築いてきた150年以上の伝統を引き継ぎ、さらに素晴らしい学校にしていきます。三尻に生まれ育ったことに誇りをもち、今を全力で生き、皆で力を合わせ、明るく光る未来を切り拓いていくことを誓います。

学校教育目標

今を全力で生き、未来を切り拓く三尻っ子の育成

- 進んで学ぶ子（知） ○ 心豊かな子（徳） ○ 最後までがんばる子（体）

【合言葉】 ～笑顔いっぱい、感謝いっぱい、感動いっぱい～

学校経営の基本方針



1 子ども達を徹底的にかまってあげる S-odateru

- ・「ほめる・認める・励ます」・・・一人一人の自己肯定感・自己有用感を高める
- ・「厳しさ・温かさ」・・・相手意識を大切に（相手が納得するか、ありがたいか）
- ・「一人一人を確実に伸ばす」・・・授業力の向上 学級経営の充実

2 いじめ・差別・いじわる ゼロ！ 居心地のいい学級づくり

- ・「みんなちがって みんないい」 多様性を尊重する教育・・・インクルーシブ教育
- ・生徒指導は、楽しく喜びの多い授業と温かく居心地のよい学級経営から
- ・アンテナの精度を上げる 子ども大人も「報・連・相・見届けの徹底」

3 感謝の気持ちを表す

- ・「まちは知れば知るほど好きになる」 郷土愛・愛校心の育成・・・「三尻学」の深化充実
- ・「ありがとう＝有難う」「おかげさま＝お陰様」当たり前ではないことを子ども大人も
- ・子どもの姿で感謝の気持ちを表す ～すすんで気持ちよいあいさつ～

4 安心・安全の保障

- ・報・連・相・見届けの徹底 一秒でも早くプロの手に
- ・クレーム「0」：子どもが納得・その日のうちにフォロー 保護者への連絡・連携
- ・教職員事故を根絶：自分意識の向上 チーム三尻小で事故を防ぐ



令和7年度 学校経営（教育指導計画）

1 学校経営の基本

- 「新熊谷プロジェクト」で、「学力日本一」を目指します！
- 熊谷の子どもたちは、これができます！「4つの実践3減運動」に取り組む。
- 熊谷教育の原点「幡羅高等小学校 家庭心得」の教えをもとに、学校・家庭・地域が一体となって「知・徳・体」のバランスのとれた子どもを育成していく。

熊谷市では、「知力」だけではなく、思いやりなどの「徳力」や、走る力、投げる力などの「体力」も広い意味での学力と捉え、知・徳・体のバランスのとれた学力を身に付けさせることにより、子供たちに「生きる力」、未来の社会を「生きぬく力」を育成する。



2 めざす学校像



「笑顔いっぱい・感謝いっぱい・感動いっぱい」

- (1) すべての児童が生き生きと生活する学校
- (2) 基礎基本を大切にし、学力向上をする学校
- (3) 安全で安心できる環境が整った学校
- (4) 家庭・地域から信頼され、ともに歩む学校
- (5) 教職員が生きがいをもって働く学校

3 めざす児童像

「自分も他者も大切にし、互いに高め合う児童」

- (1) 思いやりの心をもって、温かな人間関係を築いていける児童
- (2) 意欲をもって、何事にも積極的に取り組む児童
- (3) 自ら課題を見つけ、主体的に探究し解決する中で、学力を伸ばす児童
- (4) 目標をもち、その実現のためにがんばりぬく児童
- (5) 自他の命を大切にし、安全を守れる児童

4 めざす教師像

「児童を徹底的にかまってあげる教師」

- (1) 児童に対する愛情をもち、厳しさと温かさの両面をもちあわせる教師
- (2) 児童のやる気に火をつけ高める教師
- (3) 児童の目が輝く授業や生き生きとした活動のために日々努力する教師
- (4) 地域と積極的に関わり、地域の中で育つ教師
- (5) 児童（保護者・地域）に尊敬される教師：先生（「**仰げば尊し**」）

5 学校教育目標の具現化に向けた取組

【知：進んで学ぶ子】

◎学ぶ喜びを味わい、確かな学力を身に付ける子を育成する。

重点目標・努力点	具体的な実践・目標値等
・授業の中で徹底して子ども達をかまひ伸ばす	・授業中に全ての子どもに声かけを行い、活躍できるようにする。 [全ての子どもに、1日の中で最低1回以上声をかける。100%] [県学力・学習状況調査の伸び 100%]
・三尻小スタイル（学習習慣）の定着を図る 「チャイム席・姿勢・授業用具等」	・三尻小スタイルについての全職員で共通理解を図り実践する。 ・「号令の流れ」の徹底（チャイム席、授業の準備、礼、姿勢の徹底） ・名前を呼ばれたり、呼びかけられたりしたら「はい」と元気な返事 [100%] ・授業中の姿勢、適切でていねいな言葉づかいの徹底
・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図る	・「見通し」と「振り返り」の時間を必ず設ける。 [100%] ・学習内容を明確化した授業を実施する。課題は、「疑問型」にする。 ・思考過程がわかる板書を実践する。 ・児童の思考を働かせ、対話を繋ぐような教師の関わりを徹底する。
・毎時間の授業や宿題等をととして基礎・基本の確実な定着を図る	・ラウンドシステムの考えを取り入れ、繰り返し指導による「読み・書き・計算」の力の定着を図る。 ・学年に応じた家庭学習の充実を図る。 [10分×学年+10分]
・習熟度別学習（3～6年）の工夫と学力の一層の向上を図る	・学年2クラスを3グループに分けた習熟度別学習の充実を図るとともに、学力向上補助員との連携を生かしながら、きめ細かな指導を行う。
・評価の工夫・改善を図る	・指導と評価の一体化を図る。よいところを大いに評価し、意欲を喚起する。 ・ポートフォリオを取り入れた「三尻っ子ファイル」を即時的、具体的に、家庭に伝え連携を図れるようにする。
・GIGAスクール構想を推進し授業の充実と学力の向上を図る	・一人1台タブレット端末と大型提示装置の効果的な活用を推進する。 [日常的な情報交換と職員研修の実施] ・タブレットでのキーボード入力技術の向上を図る。
・地域に開かれた教育課程を充実させる	・「三尻ふしぎ発見：三尻地区や三尻小学校の歴史・文化・自然・施設・人物等を素材とした学習」をもとに、カリキュラムを工夫し、教科横断的でオーセンティックな学習活動を展開する。 [3～6年生の総合的な学習の時間や縦割り活動で実施する]
・外国語活動の充実を図る	・ALTと連携を図りながら、楽しい外国語活動の授業を行う。 ・OBL（オンラインブレンディッドラーニング）を効果的に活用する。 [英語が楽しい児童 85%]

【徳：心豊かな子】

◎心を磨き、自他を大切にできる子を育成する。

重点目標・努力点	具体的な実践・目標値等
・心をこめて気持ちよいあいさつができるようにする	・熊谷の子どもたちはこれができます「4つの実践」の推進を図る。 ・あいさつ運動の実施 [笑顔で・元気に・すすんであいさつ] [学校内外で、気持ちのよいあいさつ 100%]
・主体的な清掃活動を推進する	・清掃のやくそくの徹底を図る。 [膝つき黙々清掃 90%]
・読書月間等をととして読書を推進する	・読書タイム、読書月間、読み聞かせの充実を図る。 ・読書にチャレンジ [1・2年 100冊×学年 3～6年 1000ページ×学年] (通年)
・全教育活動をととした道徳教育を推進する	・心に響く、心を耕す道徳授業の展開や指導方法を工夫する。 ・「生命尊重」「規範意識」「善悪の判断」の指導の徹底 ・給食時に「ありがとう放送」として児童のよい行いを紹介し広める。 ・実生活における道徳の「見える化」を図る。 [JRC活動、縦割り活動の充実、子ども食堂フードパントリーへの協力]
・全教育活動の中で人権教育を推進する ・生徒指導・教育相談活動の充実を図る	・校内人権週間の実施（いじめゼロ宣言、人権作文、標語の指導） ・いじめ把握調査の実施と活用（早期発見、早期対応） ・月の生活目標、三尻っ子のやくそくの徹底と評価 ・「報告、連絡、相談、確認」の徹底 ・週1回のスクラム会議の実施と全職員への周知 ・全教職員による児童への声かけの実施（徹底して「かまってあげます」） [いじめ解消率 100%]
・子どもの心に寄り添った指導に努め、インクルーシブ教育の充実を図る	・すくすく委員会を定期的に開催する。（LD、ADHD等の発達障害をもつ児童や家庭や生徒指導上課題のある児童や指導法について共通理解） ・教員間、保護者との連携を図り、通級指導教室、特別支援学級の充実を図る。 ・個別の教育支援計画・指導計画の作成と充実を図る。 ・特別支援教育コーディネーターを機能させ、SSWやSCなどの巡回相談を効果的に活用する。 ・交流及び共同学習の継続的に推進する。
・季節や行事等に合わせた掲示教育の充実を図る	・校舎外掲示板、学年掲示板の有効活用 ・常に新しく児童の心をとらえる掲示の工夫 ・言語環境を整える掲示の工夫
・環境教育を推進する	・花と緑の豊かな環境づくりを推進する。（学校ファーム、学年園、グリーンカーテン、一鉢栽培：朝顔・ミニトマト・ハウセンカ） ・落ち葉はき、ゴミゼロ運動、アルミ缶回収（JRC活動、委員会活動）
・幼保小、小中の連携の取組を充実する	・幼稚園、保育園児の来校により交流する。 ・三尻中学校との児童、教職員の交流の充実を図る。 （三尻中 Sun Festa の見学、中学校訪問、中学校教諭による授業） ・三尻中学校区生徒指導の約束について共通理解する。
・キャリア教育を推進する	・志ノートを活用する。 ・総合的な学習の時間「4年生：ハーフ成人、6年生：Let's search for your Dreams.」

【体：最後までがんばる子】

◎進んで体や心を鍛え、あきらめずにやり抜く子を育成する。

重点目標・努力点	具体的な実践・目標値等
・埼玉県が目指す「学習規律を確立させ、力いっぱい運動し、思いっきり汗をかく『楽しい』体育授業」を展開する ・体育的活動の充実を図る	・体育授業の効果的な進め方を研修し、授業の充実を図る。 [小学校体育の授業10の場面のポイント～体育の授業 どうしたらいいの?～の活用] ・三尻っ子体育授業の心得の徹底 ・業前運動（さわやかタイム）の工夫（時季に合った効果的な活動） ・持久走大会への長期的取組（みしりすマラソンがんばりカードの活用） [マラソンコース全学年児童50周達成 85%] ・新体力テストの課題を重点的に指導（握力、立ち幅跳び、ボール投げ） ・市体育行事への参加の奨励（スポレクフェスティバル、さくらマラソン等） [新体力テスト A+B+C=85%] [さか上がり成就率 85%]
・歯の健康についての関心を高め、むし歯治療率の向上を図る	・歯みがき指導とフッ化物洗口の実施 ・保健日より、プリント、電話等での保護者への啓発 [むし歯治療率 90%]
・食育指導の充実を図る	・「朝ご飯をしっかりと食べる」ことの推進 [朝食摂取 100%] ・学校栄養士との連携による食育指導の実施 [隔年実施]
・日々の継続した指導により、安全教育の徹底を図る	・一斉下校、避難訓練等（引き渡し訓練、緊急地震速報を利用した訓練、不審者対応）を実施し意識を高める。 ・継続した交通安全指導 ・交通安全教室（安全な歩行、自転車免許）の実施 ・学校施設の日常的な点検と定期点検の徹底、及び迅速な対応 [ヘルメット着用 100%] [飛び出し・一時不停止をしない 100%]

6 教職員の服務上の重点

（１）教職員事故の根絶

- ① 事故発生による影響の大きさ・・・信頼失墜と負担（時間・心身）の激増
- ② 自分だけ大丈夫でも、大丈夫ではない！・・・チームで守る
- ③ 正常性バイアス：このくらいならという先入観・・・もしかして、あれ？を大切に
- ④ いかに意識化するか・・・短時間でも繰り返し話し合い、時季に応じた情報提供・声がけ
- ⑤ 交通事故、成績・個人情報漏洩、わいせつ、セクハラ・パワハラなどのハラスメント、体罰・不適切な指導、初期対応の遅れ・まずさ、金銭・会計事故、たより等情報発信

（２）働き方改革・負担軽減・・・R7～月45時間以内、年間360時間以内

- ① 定時退勤デイの徹底（原則 毎週水曜日 取得できない場合には、同一週内で）
- ② 年次休暇の取得をすすめる
 - ・スペシャルデイ年休・・・記念日、家族の特別な日など
 - ・協力体制を整えて、取得しやすい雰囲気づくりをする。（教職員への積極的な声かけ）
- ③ 見通しをもった仕事（短期・中期・長期の計画、意識化）
- ④ 業務の精選、効率化をすすめる。（無理・無駄をやめる）
- ⑤ 職員会議時間の短縮：目標45分（事前の資料配付、復唱はしない）